

使い方がわかる!

バイオクリーナーの

Q & A

選び方、使い方、特徴について

商品の選び方

Q グリーストラップ用製品の選び方は？

トラブルの状況や用途に合わせて4種類からお選びください。
○グリーストラップの悪臭を止めたいときは「グリストバブルDeo」
○グリーストラップを洗浄するには「GT ファイナルクリーン」
○悪臭の発生や油脂の蓄積量を抑え、トラブルを予防するには「L-75」または「グリストPon」

グリーストラップ用製品 → P10

Q トイレ用クリーナーの選び方は？

バイオトイレクリーナーにはスプレータイプとジェルタイプの2種類あります。効果は同じですので、好みでお選びください。
○希釈もできるスプレータイプ「バイオポリッシュS」
○汚れに張り付いたれにくいジェルタイプ「バイオポリッシュジェル」

トイレ用クリーナー → P5

Q ガラス、鏡用クリーナーの選び方は？

汚れの状態や用途に合わせて2種類からお選びください。
○浴室の鏡やガラスの水垢、ウロコ汚れには「ナノミラーコート」
○ガラス、鏡の日常の汚れ（手垢やほこり）には「グラスアップ」

ガラス、鏡用クリーナー → P8

バイオクリーナー（バクテリア）について

Q バクテリアの特徴は？

自然界に生息する微生物で大きさは約1/1000mmの小さな生き物です。バクテリアは私たちが排出した汚れ（有機物）を栄養源として消化しながら増え続け、最終的には環境に無害な水と二酸化炭素に変えていくのが特徴です。

Q バイオクリーナーとはどのような商品？

天然のバクテリアに洗剤成分をプラスしたクリーナーです。洗浄成分の即効性とバクテリアの活性による持続性の両方を兼ね備えたクリーナーで、環境や人に負担をかけることなく汚れや臭いを元から分解除去します。

Q バクテリアは安全ですか？

天然の土壤から採取した天然のバクテリア（納豆菌の仲間）です。バクテリアには人間にとて病原性ある悪玉菌と善玉菌がありますが、製品にはきわめて安全性の高い善玉菌のみを使用しています。

善玉菌 乳酸菌、酵母菌、納豆菌など
悪玉菌 大腸菌、サルモネラ菌、O-157など

Q なぜバクテリアを配合するのですか？

バクテリアは有機分解作用により、汚れ（有機物）を消化し、最終的には環境にやさしい水と二酸化炭素にまで変換する効果が期待できるからです。またバクテリアが増殖を繰り返すことで対象面にバイオフィルムという生物膜を形成し、防汚効果、防臭効果が長続きします。

Q カーペット用クリーナーの選び方は？

シミ取り剤とカーペットシャンプーの2種類からお選びください。
○部分的なシミ汚れには「ステインアウェイ」
○ポリッシャー等を使用した機械洗浄には「カーペットエース」

カーペット用クリーナー → P5

Q 排水管用クリーナーの選び方は？

排水管の設置場所によりお選びください。
○洗面台、キッチン、浴室の排水管には「ロービックLDT-32D」
または粉末タイプの「K-67JD」
○トイレ便器からつながる排水管には「ロービックK-97JD」

排水管用クリーナー → P6

Q 消臭剤の選び方は？

悪臭の種類や用途に合わせて3種類からお選びください。
○生ゴミ、汚水、汚物、動物の死臭には「バイオスタート」
○生活空間の消臭、除菌には「フロレスタ除菌&消臭」
○残り香のない無香タイプは「酵素消臭剤」

消臭剤 → P3

Q 製品中のバクテリアは生きている？

バクテリアは休眠状態で安定的に保存されています。その大きさは大変小さいため目には見えませんが、ボトルの中では植物の種のような状態で保存されており、いったん汚れ（栄養源）に触ると目を覚まし活性してきます。

Q バクテリアの種類は？

弊社のバイオクリーナーには主にBacillus（バチルス）属の善玉バクテリアを数種類配合しています。バクテリアの種類により活性する温度帯や分泌する酵素が異なるため、目的に合った有用なバクテリアを数種類配合することが有効だとされています。

Q バクテリアは即効性がない？

バクテリアは汚れを栄養源として消化することにより、汚れの分解や消臭効果を発揮するため、通常は化学製品よりも反応までに時間がかかります。化学製品とバクテリア製品の違いは、一般的な薬に例えると、症状をすぐ止める頓服薬と長く服用し根本的な改善を図る漢方薬のイメージです。近年は即効性のある洗浄成分との組み合わせにより、実用性の高いバクテリア製品が多くあります。日常の清掃で継続的にご使用いただくことをお勧めします。

BIO バイオ消臭剤 バイオスタート

Q 今までの消臭剤と何が違うのですか？

バイオの先進国アメリカで開発されたバイオ消臭剤です。主成分のバクテリアが悪臭の発生源である有機物を消化し水と二酸化炭素に変換することで消臭作用を発揮します。

Q 効果的な使用方法は？

空間に噴霧するのではなく、悪臭の発生源に直接噴霧してください。ごみ集積所や作業場の床面など使用範囲が広い場合は、市販の蓄圧式スプレーや電動スプレーを使用することも可能です。コンクリートやブロック製の壁面及び床面などにはたっぷりと一面に噴霧するようにして下さい。

バクテリア配合商品には **BIO** マークを記載しております。

Q バイオクリーナーの保管方法は？

高温の室内（室内温度46度以上）や直射日光の当たる場所に長時間置かないで下さい。使用期限は保管状況にもよりますが、未使用の状態で2年を目安にして下さい。

Q バクテリアと酵素の違いは？

バクテリアは微生物といわれる小さな生物ですが、酵素は生物ではなくバクテリア自身が栄養源を消化する目的で分泌するものです。身近なところでは私たち人間が食べ物を消化する際に内臓で分泌される消化酵素も同じ酵素です。これらの酵素を主成分にしたクリーナーは即効性が期待できますが、その効果は長続きしません。これに対しバクテリア配合クリーナーは、バクテリアが汚れに合った酵素を持続的に分泌できるため、効果が長続きします。

Q バイオクリーナーに消臭効果は期待できますか？

生ゴミ、動物の死臭、トイレ臭、污水臭など有機物が原因の悪臭に高い消臭効果を発揮します。
ただし、バクテリアの活性にはある程度水分（湿度）を必要とするため、バイオクリーナーを塗布（スプレー）しても対象面がすぐに乾燥してしまう場所では効果が長続きしない場合があります。

Q どのような悪臭に効果がありますか？

生ゴミ、汚物、嘔吐物、排水口、汚水槽等の悪臭や動物の死臭などに効果的です。ただし、化学薬品、香水、お香、タバコの臭いには十分な効果が期待できません。

Q 人や動物に対し安全ですか？

天然バクテリア主成分で、中性タイプのため腐食性などはありませんが、人や動物に直接かかるようしてください。消臭場所から人や動物をいったん移動させた後、消臭作業を開始してください。

Q 希釈はできますか？

原液使用がもっとも効果的ですが、状況により2～5倍程度に希釈して使用することも可能です。

フイトンチッド消臭剤

プロレスタ除菌＆消臭

Q どのような悪臭に効果がありますか？

トイレ臭、タバコ臭、汗臭、動物臭、雑菌臭、焦げ臭などに効果的です。

Q フイトンチッドの特徴や安全性は？

ヒバ、ヒノキ、竹、ナンテン、マツ、ヨモギ、緑茶など天然の植物から抽出した揮発性成分です。自ら森の中を移動できない樹木は、外敵からの攻撃や刺激を受けた際に樹木自身を守る手段として、病原菌に感染しないように傷口を殺菌したり、害虫などを寄せ付けない揮発性物質を放出しています。それがフイトンチッドとよばれる成分です。

Q 除菌効果はありますか？

昔からヒバ、ヒノキ、竹、ナンテン、マツ、ヨモギ、緑茶などの植物に含まれる成分に抗菌作用があることは有名ですが、これはフイトンチッドの作用によるところが大きいとされています。フイトンチッドを主成分としたプロレスタ除菌＆消臭についても大腸菌、黄色ブドウ球菌などの菌に対する高い抗菌力が国内試験機関により確認されています。

無香料消臭剤

酵素消臭剤

Q 今までの消臭剤と何が違うのですか？

一部市販の消臭剤に使用されている界面活性剤や塩素などは一切含まず、また無香料タイプでマスキング香料と臭気成分と混ざり合い不快な臭いを発生させることができます。酵素消臭は、天然のパイナップル熟成物から抽出した39種類の酵素がそれぞれ臭気成分に働きかけ、臭いの元から分解します。

Q 動物の死臭にも効果はありますか？

多くの専門業者様で使用実績があります。死臭は臭気が強いため、まず洗浄剤で汚れた場所ができるだけ洗浄した後、原液を臭いの元へ直接スプレーします。これを数回繰り返してください。

Q 市販の消臭剤と何が違うのですか？

天然の樹木から抽出した森林浴成分「フイトンチッド」を使用しています。一部市販の消臭剤のように強い香りでマスキングするのではなく、悪臭成分に直接働きかけ分解消臭します。また塩素や界面活性剤を含まないため、安心してお使いいただけます。

Q 効果的な使用方法や目安の使用量を教えてください？

空間噴霧もしくは臭いの元に直接噴霧してください。
広さ8畳のお部屋の場合、空間全体に10回程度スプレーしてください。

Q 使用してはいけない場所や保管上の注意はありますか？

水分の染み込みやすい素材や装飾品などは必ず目立たないところで一度テストしてからご使用を開始してください。直射日光の当たらない室内で保管してください。

Q 希釈は可能ですか？

基本的には原液使用をおすすめしますが、対象となる悪臭の強さにより2～10倍までの範囲で希釈調整をご使用ください。ただし、希釈後の長期保存は出来ませんので、希釈液を作成する場合は、1回で使い切れるだけの量をお願いします。

BIO バイオトイレクリーナー

バイオポリッシュS（スプレータイプ）・バイオポリッシュジェル（ジェルタイプ）

Q 尿石（黄ばみ）を除去できますか？

バクテリアは尿石を瞬時に溶かす力はありませんが、定期的に使用することで尿石の付着を防止することができます。すでに便器に黄ばみがある場合は、一度市販の尿石除去剤を使用し、黄ばみを取り除いた後、付着防止の目的でバイオポリッシュを定期的にご使用ください。

Q 酸性洗浄剤と比較した場合メリット、デメリットは？

酸性洗浄剤は尿石や水垢を落とす効果は高いですが、便器の表面や排水管を傷つける恐れや浄化槽および自然環境への影響も心配です。バイオポリッシュは中性のため、尿石や水垢を瞬時に落とすことは難しいですが、日常的に使用することで有機的な汚れを分解し、雑菌も抑制するため、持続的に尿石の発生を防止します。また便器の表面や排水管を傷つけることなく、浄化槽や自然環境に対するリスクが極めて低いため、安心してお使いいただけます。

Q 使用した後、水を流せばバクテリアも流れてしまうのではないか？

バイオポリッシュには米国のバイオ技術によって多種多様のバクテリアが数多く配合されています。バクテリアは100%水に流されることは無く、水と混ざり便器や排水管を通過する際、餌となる汚れ部分に少しづつ張り付き、やがて細胞分裂で繁殖して便器や排水管にバイオフィルム（生物膜）を形成し、定着することで持続的に効果を発揮します。

BIO カーペット用 ステインアウェイ

Q どんなシミ汚れに効果的ですか？

カーペットに付着したコーヒー、紅茶、ジュース、ソース、ペットの汚物などが原因のシミ汚れに効果的です。ただし、塗料、インク、化粧品などの化学薬品のシミ汚れ、ガムの付着、焦げ後、日焼けによる変色には効果がありません。

Q 効果的な使い方は？

シミ汚れにスプレーした後、乾いたタオルなどをあて、ハンドブラシ等でその上から数回たたき、汚れをタオルに移し取るようにして下さい。汚れがひどい場合は2～3回繰り返し行って下さい。

Q 従来のトイレ用クリーナーとバクテリア配合のクリーナーとの違いは？

従来のクリーナーは手の届く範囲の汚れにのみ作用するだけですが、バイオポリッシュはバクテリアの活性により便器のふち、目皿、排水管などふだん手の届きにくい場所の汚れや悪臭物質を持続的に分解します。

Q 効果的な使い方は？

従来のトイレ洗剤と同じ使い方です。便器内側へスプレーまたは塗布し、トイレ用のブラシやスポンジを使い便器全体に塗り広げるように洗ってください。便器以外にも床面や洗面台（陶器）の洗浄にはスプレータイプのバイオポリッシュSをご使用頂けます。

Q 希釈はできますか？

バイオポリッシュSは水で2～3倍に希釈して使用することも可能です。ただし希釈後の液は1週間以内に使い切るようにして下さい。バイオポリッシュジェルはジェルタイプのため、希釈せずに原液で使用してください。

Q 従来のシミ取り用洗剤との違いは？

従来の化学成分で汚れを落とす洗剤は、繊維表面の汚れは取れても奥底の汚れはなかなか取れず、また洗浄後に残留した洗剤成分により汚れの再付着や変色を引き起こすことがあります。これに対し、ステインアウェイは主成分のバクテリアが繊維の奥深くに入り込み、汚れや悪臭の元（有機的物質）、さらには残留した洗剤成分までもどんどん分解するため、汚れ落ちが良く、後処理も簡単です。

Q シミ取り作業した箇所だけきれいになり、境目が目立ちませんか？

カーペットが汚れていればいるほどその可能性が出てきます。その場合はカーペット全体の洗浄を検討するか、シミ取り作業をした箇所とそれ以外の場所との境目を軽く絞った濡れタオルで拭き上げ、ぼかすように仕上げ作業を行って下さい。

Q カーペット以外にも使えますか？

水で拭いて色落ちする生地や縮みが激しい生地（天然素材）には使えません。

使用できないもの…ネクタイや洋服（素材により使用可能）、着物類、レーヨン及び絹等、その他水でも縮みや色落ちする素材すべての素材に対して必ず目立たないところで一度試してから使用して下さい。

BIO カーペットシャンプー カーペットエース

Q カーペットシャンプーなぜバクテリアを配合しているのですか？

バクテリアを配合することでブラシやパッドが届きにくいカーペット繊維の奥に入り込んだ汚れや悪臭を分解してくれるからです。また汚れと反応した後の洗剤成分は最終的にバクテリアの餌になりますので、カーペットの残留洗剤を最小限に抑えます。

Q どのような洗浄機で使用可能ですか？

基本的には通常の業務用カーペットシャンプーと同じ使用方法です。カーペット用ポリッシャータンクに希釈した本剤を入れ、カーペット用ポリープラシ等を装着し洗浄後、汚水回収する方法、もしくは希釈した本剤をスプレーヤー等でカーペットに散布した後、ポリッシャーに拭き上げ用のパッド（綿素材もしくはマイクロファイバー素材）を装着し、拭き上げ作業を行う方法がおすすめです。

Q 希釈は可能ですか？

原液を水で希釈して使用します。

重度の汚れ：～10倍

中度の汚れ：20～30倍

軽度の汚れ：50倍

BIO 排水管用バイオクリーナー ロービックLDT-32JD（液体タイプ）・K-67JD（粉末タイプ）

Q LDT-32 と K-67JD の違いは？

排水管の汚れと悪臭を分解するバイオクリーナーです。LDT-32JD はすぐに使える液体タイプ、K-67JD はぬるま湯に溶かして使う粉末タイプです。好みに合わせてお選びください。

Q 保管上の注意はありますか？

直射日光の当たらない、室温で保管してください。

Q カーペットにバクテリアが残っても大丈夫ですか？

地球上のバクテリアのうち、約 95% は無害の善玉バクテリアだと言われています。身近なところでは、醤油、お酒、納豆の製造など昔から人とバクテリアは共存してきました。この製品に含まれているバクテリアも人間にとって害のない善玉菌の仲間である善玉バクテリアを使用しております。そのため、洗浄後のカーペットに善玉バクテリアが残っても問題はありません。

Q バクテリアはいつまで活動を続ける？

休眠状態のバクテリアは汚れ（餌）に触れると活動を開始し、約 15 分から 20 分に一度細胞分裂をして増えていきます。洗浄後、カーペットに水分が残っている間は活動し続けますが、その後餌（汚れ）や水分がなくなると活動をやめて、減少していきます。

Q 変色や脱色はしませんか、また商品自体に臭いはありますか？

カーペットにやさしい成分で作られていますが、水で拭いて色落ちする生地や縮みが激しい生地（天然素材）は使えません。必ず目立たないところで試してから使用して下さい。

また商品は無香料タイプですので、洗浄後にきつい香りが残ることはありません。

Q どんな汚れに効果がありますか？

排水管内部に蓄積した動物油、植物油、食物、石鹼カスなどの有機的な汚れに効果的です。ただしビニール、ゴム、プラスチック、金属、木片、ガム、毛髪などが排水管の流れを妨げている場合、バクテリアでは分解できないため、十分な効果は期待できません。

Q すでに排水管が完全に詰まっている場合、解消できますか？

すでに排水管の流れが悪く、詰まりがひどい場合は、バクテリアの特性上すぐに効果があらわれない可能性があります。ロービック LDT-32JD 及び K-67JD は、バクテリアが排水管の堆積物をゆっくり生分解することでスムーズな流れをキープし、詰まりや悪臭のトラブルを防止する商品です。

Q 効果的な使い方はありますか？

就寝前やお出かけ前に排水口から投入し、その後 6～7 時間は水を流さず放置します。初めて使用する場合は 2～3 日間連続してこの作業を繰り返してください。排水管の流れが悪いときは、本剤を投入し 6～7 時間放置した後、ぬるま湯（40℃前後）をゆっくり排水口に投入していただくと、バクテリアの作用で軟化した汚れが取れ、流れが良くなる場合があります。効果的です。

BIO トイレ排水管用バイオクリーナー ロービックK-97JD

Q どんな汚れに効果がありますか？

トイレ排水管内部に蓄積した汚物やトイレットペーパーなどの堆積物に効果的です。ただし、ビニール、ゴム、プラスチック、金属、木片、ガム、毛髪などが排水管の流れを妨げている場合はバクテリアが分解処理できないため、十分な効果が期待できません。

Q 投入後すぐに水を流しても大丈夫ですか？

バクテリアが活性するまで時間がかかります。本剤投入後、6～7 時間水を流さずに放置してください。

Q 効果的な使い方は？

就寝前やお出かけ前にトイレ便器から本剤を投入し、その後水を 1 回流します。そのまま 6～7 時間はトイレの使用を控えてください。初めて使用するときは 4 日間連続でこの作業を繰り返してください。トイレの流れが悪い場合は、本剤投入作業後 6～7 時間放置した後にバケツ 1 杯～半分程度のぬるま湯（40℃前後）を便器から水のあふれ出しがないことを確認しながら便器に少しづつゆっくり投入していくと流れが改善される場合があります。また市販のトイレ便器詰まり改善用のラバーカップなどを併用していただくとさらに効果的です。

Q 排水管や浄化槽への悪影響はありませんか？

バクテリア主成分の中性タイプですので、長期間使用しても排水管や浄化槽に悪影響はありません。

Q K-67JD を水に溶かしたとき溶け残りがありますが問題ないですか？

K-67JD には水に溶けない食物繊維（バクテリアを植え付けた茶色い粒）が含まれていますが、やがて分解していくため、そのまま排水口に投入して問題ありません。また冷水で溶かした場合、成分の一部が凝固する場合がありますので、本剤を溶かす際は冷水よりぬるま湯（40℃前後）をご使用いただくことをおすすめします。

Q すでにトイレが詰まっている場合、解消できますか？

詰まりがひどい場合やトイレットペーパーを一度に大量に流したことによる詰まりにはバクテリアの特性上すぐに効果があらわれない可能性があります。ロービック K-97JD は、バクテリアがトイレ排水管や下水本管の汚物やトイレットペーパーの堆積物をゆっくり生分解することでスムーズな流れをキープし、詰まりや悪臭のトラブルを防止する商品です。

Q 排水管や浄化槽への悪影響はありませんか？

バクテリア主成分の中性タイプですので、排水管や浄化槽に悪影響はありません。

Q トイレ用の酸性洗剤や塩素系洗剤は使用できますか？

バクテリアを傷つける恐れがあるので、バクテリア投与中は使用を控えるか、どうしても使用する必要がある場合は洗剤使用後に水を多めに流してください。

日常の清掃には中性洗剤やバイオ系洗剤（バイオポリッシュ）を使用することをお勧めします。

BIO 淨化槽用バクテリア製剤
ロービックK-37JD・K-57JD

Q 淨化槽のトラブルにはどのような原因がありますか？

浄化槽の詰まり、悪臭、水質低下には主に以下の原因が考えられます。

- トイレットペーパーの使用量が多い
- 調理油や調理くずが多く流れ込んだ
- 頻繁に嘔吐物を流した
- 洗剤、カビ取り剤、漂白剤、殺虫剤を多く使用した
- ペットの糞を頻繁に流している
- プロア（送風機）が停止している
- しばらく浄化槽の清掃をしていない等

Q 浄化槽のマンホールのふたを開けて投入しなければいけませんか？

マンホールのふたを開け浄化槽に直接投入する方法とトイレから投入する方法があります。トイレから投入する場合は浄化槽に一番近いトイレ便器に本剤を投入した後、本剤が浄化槽に確実に届くようトイレタンクの水を2回ほど流してください。就寝前やお出かけ前など浄化槽に水が流れない時間帯に投入すると効果的です。

Q バクテリア製剤を投入することでどのような効果が期待できますか？

本来、浄化槽内には自然発生したバクテリアが住み着いており、エアレーション（空気を送り込む）などで活性させることにより、浄化槽内の汚物を分解します。何かの原因で浄化槽のバクテリアの活性が弱くなり浄化槽の機能が低下した場合、バクテリア製剤を追加投入することで浄化槽内のバクテリア活性が急速に高まり、汚物の浄化を促進します。したがって、浄化槽の水質は安定し、定期的な維持管理費用の削減につながります。

**コーティング剤配合クリーナー
グラスアップ**

Q コーティング効果はどのくらい続きますか？

手軽にできる簡易的なコーティングですので、状況により異なりますが、持続期間は2～4週間が目安です。乾拭きや水拭きを繰り返すと少しづつコーティング層が薄くなりますので、定期的にご使用ください。

Q ガラス、鏡以外でも使用できますか？

中性タイプで無香料のクリーナーですので、ガラスや鏡以外でも広い用途でお使いいただけます。

使用例：テーブル、洗面台、トイレ便器、ショーケース、タッチパネル、ドアノブ等

※転倒防止のため、床面には使用しないでください。

※タッチパネルや電子機器の場合、直接スプレーせず、いったん拭き上げ用のタオル等に吹き付けた後、汚れをふき取ってください。

Q K-37JD（定期メンテナンス用）とK-57JD（初期処理用）の使い分けは？

K-37JDとK-57JDではバクテリアの菌数が異なります。K-57JDの方が有効菌数が多いため、初めて使用する時や悪臭がひどい時は、まず最初にK-57JDを使用します。使用後症状が改善された段階で、次回以降K-37JDに切り替えていただくことも可能です。（そのままK-57JDをご使用いただいても問題ありません。）状況にもより異なりますが、年に3～4回（季節ごと）の継続使用をおすすめしています。

Q 浄化槽にもともと生息するバクテリアに影響ありませんか？

本来浄化槽の中にも自然界のバクテリア（微生物）が存在しますが、K-37JDおよびK-57JDのバクテリアも自然界の有用バクテリアを使用しています。浄化槽のトラブルが発生している場合、浄化槽内に生息するバクテリアが弱っていたり、バランスが崩れている可能性がありますので、有用バクテリアを追加投入することで浄化槽内のバクテリアと共に共存共栄し相乗効果を発揮します。

Q 汚み取り式トイレにも使用できますか？

汚み取り式トイレの悪臭対策にもご使用いただけます。
便槽の容量500Lに対し、K-57JDの946mlボトルを半分から1本を投入します。

Q 効果的な使い方は？

対象面にスプレーするか、拭き上げ用タオルにスプレー後、汚れを拭き取ってください。最後に別の乾いたタオルで仕上げ拭きをするとよりいいそそうツヤができます。

Q 撥水効果、曇り止め効果はありますか？

撥水効果及び曇り止め効果はありません。

Q 拭きムラは残りませんか？

ガラス、鏡用に開発された特殊コーティング剤を使用しているため、拭きムラが目立たず、高い透明度と美しいツヤが持続します。（対象面に汚れが多く付着している場合は、拭き上げ作業を繰り返し行ってください。）

**ガラス・鏡用
ナノミラーコート**

Q 鏡のウロコ状の汚れや水垢は取れますか？

ナノサイズの研磨剤が配合されていますので、ウロコ状の汚れや水垢を除去することができます。（汚れの成分や付着状況によりすべての汚れが取れるとは限りません。）

Q 目安使用量は？

1m²につき、10～20gが目安使用量です。

Q 使用できないものはありますか？

使用できないもの／特殊加工した鏡、樹脂製鏡、塗装面及びコーティング加工面、家電製品、貴金属、装飾品、メガネ、宝石、自動車のボディ及びフロントガラス、樹脂製品、その他水洗いができないものや傷つきやすく、研磨剤を使用できないもの
※いずれも必ず目立たないところで事前にテストした後、ご使用ください。

Q 使用上の注意はありますか？

滑りやすくなりますので床面には使用しないでください。もし床面にこぼれた場合は中性洗剤や弱アルカリ洗剤等で洗浄、拭き取りしてください。

Q 鏡を磨く際に使用するスポンジの種類は？

鏡、ガラス専用の業務用白パットを推奨いたしますが、市販のバス用品のスポンジやメラミンスポンジもお使いいただけます。ただし、鏡やガラスを傷つけないスポンジをご使用ください。

Q 曙り止め効果はどのくらい続きますか？

使用後は2～4週間効果が持続します。定期的に軽く水洗いをしていただくと効果が長持ちします。曙り止め効果はナノミラーコートの成分が形成する親水膜（水の膜）の作用です。施工後、対象面に水をかけることによって、水が乾くまでの間親水膜を形成し、浴室鏡の湯気による曙りを防止します。ただし、常に水をかけることができない場所では曙り止め効果は期待できません。

Q 曙り止め効果が長続きしないですが、原因と対処法はありますか？

主な原因是2つあります。1つめは、石鹼、シャンプー、リンスなどが鏡に飛び散り、それが汚れとなって親水膜の形成を妨げるためです。その部分をスポンジで水洗いをして汚れを取り除くと曙り止め効果が復活します。2つめは、洗剤等で対象面を洗浄したことでの曙り止め成分が取れてしまった可能性です。その場合はもう一度使用していただき、日常清掃はできる限り洗剤を使用せずにスポンジ等で軽く水洗いをしてください。

BIO グリーストラップ用バクテリア製剤**L-75(液体)・グリストPon(タブレット)**

Q グリーストラップが汚れていますが、このまま投入してもいいですか？

汚れがひどい場合、投入したバクテリアがうまく立ち上がらない可能性があります。バクテリア製剤を使用する前にいったんグリーストラップの清掃を行ってから、投入を開始してください。

Q どのようにグリーストラップに投入しますか？

L-75 の投入方法：グリーストラップの蓋を開け、最上流部の第1層目（網カゴ付近）に投入するか、グリーストラップに一番近いシンクの排水口や床の排水溝から投入します。シンクや排水溝から投入した場合は、本剤が確実にグリーストラップに届くようバケツ1杯程度の水と一緒に流してください。

グリスト Pon の投入方法：グリーストラップの蓋を開け、最上流部の第1層目（網カゴ付近）に投入して下さい。

Q 漂白剤等使用してはいけないものや使用上の注意点はありますか？

塩素等の薬剤や温度変化に対し耐性の強いバクテリアを配合しています。漂白剤やアルカリ性洗剤などは、濃度が高い場合バクテリアを傷つける可能性はありますが、通常の使用量であればほとんど影響はありません。ただし、漂白剤、アルカリ剤、殺菌剤を使用した後は、グリーストラップに水を多めに流してから、最後にバクテリアを投入してください。また食洗器等の高温排水がグリーストラップに流入する場合も通常の排水量であればバクテリアには特に影響ありません。

グリーストラップ用洗浄剤 GTファイナルクリーン

Q グリーストラップに蓄積した油脂の分解に使用できますか？

主成分のオレイン酸カリウムが高い油脂分解力を発揮し、グリーストラップに蓄積した油脂汚れや悪臭を強力に分解します。また劇毒物ではない弱アルカリ性のため、環境に負荷をかけることはありません。

Q 使用方法は簡単ですか？

使用方法は簡単です。まずGTファイナルクリーンをグリーストラップ槽内に散布すると油脂汚れと反応して水面が白く濁ってきます。白く濁った水は水せっけんに近いような成分に変化していますので、その水をデッキブラシに付けながら槽内の壁面、仕切板、網カゴ等を洗浄し、水洗いするだけ作業完了です。

Q 使用開始後はグリーストラップの清掃をしなくていいですか？

グリーストラップに蓄積する油脂や悪臭の発生を抑える効果はありますが、グリーストラップの清掃作業自体を省く商品ではありません。日常の清掃は定期的に行ってください。

Q 効果はどのくらいで確認できますか？

悪臭の軽減は1週間程度、油脂の軽減は3～4週間くらいで確認できます。油脂はグリーストラップの水面に膜を張りますので、上から見ただけでは油脂の量や厚さの変化はわかりにくいため、水面に形成している油脂の層を棒などでかき分け、溜まっている油脂の量や厚さを確認してください。

Q 投入量はグリーストラップの大きさや汚れにより変わりますか？

グリーストラップの大きさや汚れ具合は各施設により異なります。グリーストラップの状況により、投入量を加減してください。

目安投入量

L-75：グリーストラップ100Lに対し、100ml/日

グリストPon：グリーストラップ100Lに対し、1錠/週

Q 苛性ソーダや強アルカリ洗剤の代替品として使用できますか？

苛性ソーダや強アルカリ洗剤は、油脂分解力は優れていますが、アルカリ性が高く腐食性もあり、下水道への排水基準にも影響を及ぼす恐れがありますので注意が必要です。GTファイナルクリーンはオレイン酸ベースの弱アルカリ性のため、取り扱いが簡単で、下水道への負担も軽減できます。また油脂分解能力が高いため、安全面、作業性の観点から代替品としておすすめします。

Q 消臭効果はありますか？

油脂分解とともに、グリーストラップ特有の悪臭を分解しますので、消臭効果も期待できます。

Q どのくらいの頻度で使用しますか？

グリーストラップの汚れ具合にもより異なりますが、最低でも月に1～2回のペースでご使用をおすすめしています。

Q シンクからグリーストラップに流し込むだけでも効果はありますか？

本来はグリーストラップを洗浄するための商品ですが、グリーストラップに一番近いシンクから流し込むだけでも一定の消臭効果効果は期待できます。

グリーストラップ消臭剤 グリストバブルDeo

Q 粉末をそのままグリーストラップに投入できますか？

グリーストラップに油脂が多い状態で本剤（粉末）を直接投入すると有効成分が溶けきれず効果を十分に発揮しない可能性があります。バケツにぬるま湯（40℃前後）を入れ、いったん粉末を溶かしてからグリーストラップに投入していただくことをおすすめします。

Q 安全ですか？

グリストバブルDeoの主成分は、一般的な除菌漂白剤などに使用されている過炭酸ナトリウムと数種類の特殊酵素のため安心してお使いいただけます。

Q バクテリア製剤と併用できますか？

弊社のバクテリア製剤は薬剤に対し、耐性の強いバクテリアを採用していますので、L-75やグリストPonと併用していただいて問題ありません。

その他

グリーストラップについて

Q グリーストラップとは？

厨房排水に含まれる油脂やごみをグリーストラップ槽内で分離し、汚濁物質を施設外（下水道）へ流さないための設備で、その設置や排水基準については法令で定められています。グリーストラップ内には油脂や生ゴミが溜まりやすく、清掃を怠ると悪臭の発生や排水管詰まり等トラブルを引き起こす原因になりますので、日常の衛生管理が大切です。

Q 即効性はありますか？

有効成分には即効性があります。投入後約5～10分で消臭効果が確認できます。

Q どのくらいの頻度で使用しますか？

悪臭の発生状況にもよりますが、週に2～3回のご使用をおすすめします。

Q 投入量はグリーストラップの大きさや汚れにより変わりますか？

グリーストラップの大きさや悪臭の発生状況は現場により異なります。グリーストラップの状況により、投入量や投入回数を加減してください。

目安投入量：グリーストラップ100Lに対し、100g/回

Q グリーストラップの清掃方法や頻度は？

グリーストラップの状況により異なりますが、以下を目安にしてください。

○生ゴミの回収	毎日
○油脂の回収	週に1回以上
○底部汚泥の回収	月に1回以上
○槽内の洗浄	月に1回以上